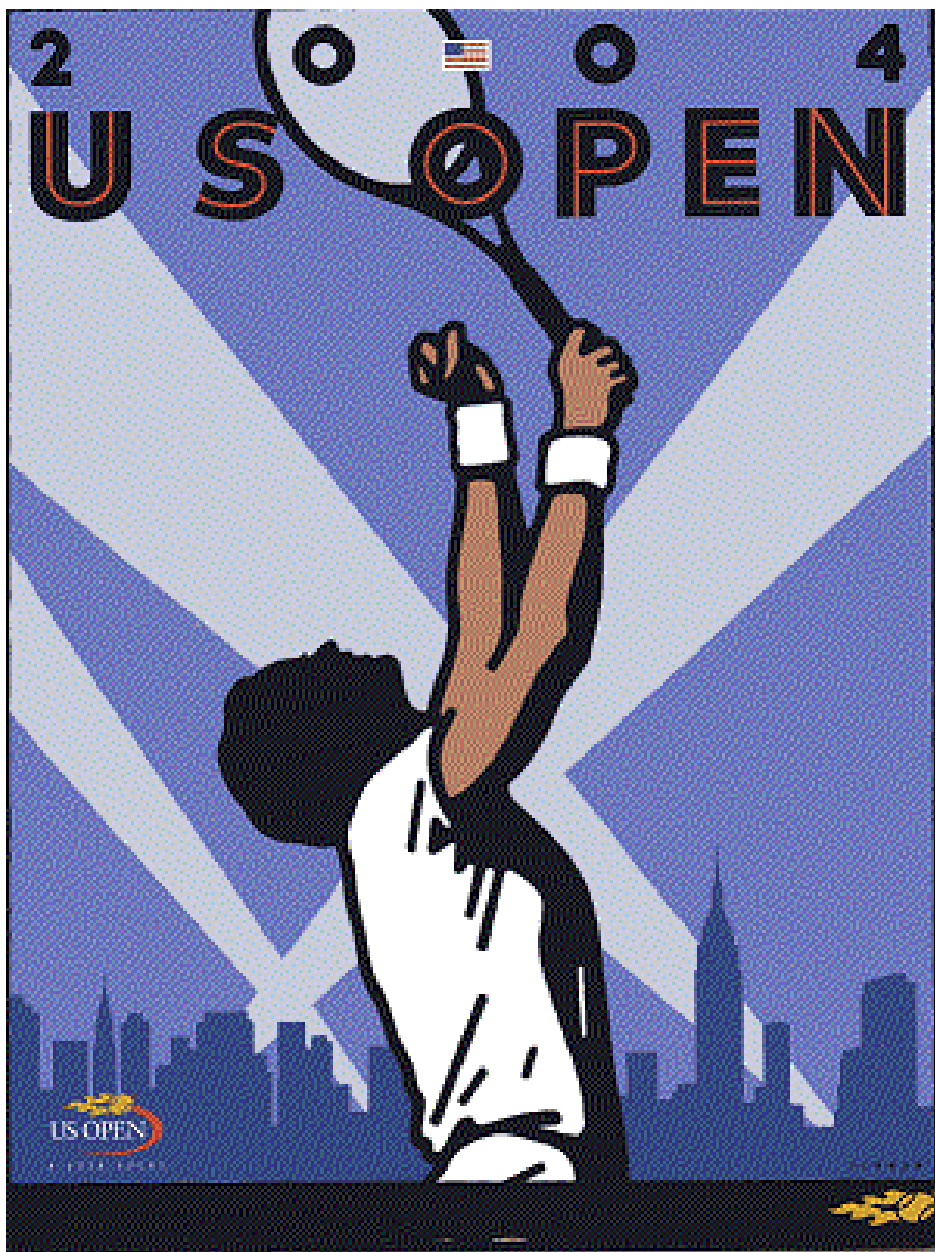


US OPEN ジュニア

ナショナルテニスセンター

2004. 9. 3~4



日本選手団

団長	栗原 宏之	全国高体連テニス部常任委員
監督	富岡 保雄	清風高校
選手	井藤 祐一	清風高校
	高尾 恵利加	渋谷教育学園幕張高校

試合結果（予選）

男子シングルス			
1 R	井藤 祐一	7-6, 2-6, 4-6	J. GRUBISIC (クロアチア)
女子シングルス			
1 R	高尾 恵利加	6-0, 6-2	A. AVEDISSIAN (アメリカ)
2 R	高尾 恵利加	6-4, 3-6, 1-6	V. KING (アメリカ)

団長 栗原 宏之

9月3、4日、USオープンジュニア予選に参加しました。選手は、選抜大会個人戦優勝の井藤祐一（清風）高尾 恵利加（渋谷教育学園幕張）の両選手です。

昨年につづいて2回目となる井藤選手は、積極的なプレーをして常に優位に試合を進めましたが、ファイナルセットを押し切れず惜敗しました。

高尾選手は1回戦を危なげなく突破、2回戦も1セットを先取したものの、2セット目から相手にペースを変えられ惜しくも敗退という結果でした。

今年も予選突破はならなかったが、昨年よりは確実にレベルアップしていると感じました。来年こそは、ボール、コートサーフェスを克服して、本戦入りできるものと信じています。高体連テニス部の選手諸君の頑張りに期待します。

今から次のUSオープンは始まっている。



USオープンジュニアに参加しての私なりの感想と反省を書かせていただきます

男子では、身長185センチ以上の選手でサーブ力があり、体カアップを常に考え、精神力の強い子供を育成する。又、頭を使ってテニスができるよう日頃から毎日練習しておくこと(たとえばこの選手にはこのショットをこのように打たして、相手をどう乱すとか)。外国のジュニア(勝ちすすんでいくジュニア)にはそういう面が見られた。 毎日一生懸命に練習すること

テニスに関係のない事はできるだけ少なくすること。(最後になくす)

そうすることによって、自分が到達しようというレベルまではチャンスあり(人間には無限の可能性あり)

男子の場合も近い将来このUSオープンジュニアで活躍する日本のジュニアが育ってくるでしょう。(その内花が咲く)

日本の女子ジュニアの場合は、心配はいらない。もうすでに世界で活躍している先輩達が多く、ノウハウを持っていますから。問題は男の子の日本の高校生よ、他のスポーツで出来る事がテニスで出来ないことはない。信念を持って君が先駆者となり、4大会(US・ウインブルドン・オーストラリア・フレンチオープン)に目標を立て頑張ろう

私もまだまだ微力ながら、日本のジュニアのために頑張りたい。

最後に、今回USオープンジュニアに参戦出来て 柳川高校の古賀先生をはじめ多くの人にお世話になり感謝します。ありがとう。

2004年9月9日 USオープンの帰りの機中にて

監督 富岡 保雄





USオープンに出場させて頂きありがとうございました。

合宿から試合期間中 サポートしていただいた高体連の方々、ウイルソンの方々、あざみ野オープンテニスクラブの方々に感謝しています。

USオープンは、日本では味わえない雰囲気、選手の迫力、ボールに対する執着心がものすごく、今年もまた驚かされました。試合は、ランキング85位のクロアチアの選手と対戦し、7-6(0), 1-6, 4-6で負けました。ファイナル4-2でリードしていただけに、勝ちたい気持ちが強くなりすぎて焦り、ミスを重ねてしまいました。

去年と今年を通じて思った事があります。外国の選手は、ハードコートで練習、試合をしている選手で、とても攻めるのが早く 浅いボールなどチャンスだと思うボールは見逃さずに攻撃してきます。サービスも早く、ファーストサーブの確率がよくて大事なポイントの時には、いいサーブが入ってきました。逆に日本の選手の場合は、オムニコート(遅くてはずまない)で試合をするので、攻めても攻めきれなくなり粘っている選手が目立ちます。オムニコートで勝っても、四大大会(グランドスラム)にはオムニコートはありません。世界のテニスに差をつけられないように、ハードコートで試合をしたいです。

コートは固くてボールがよくはずみました。ボールは軽くて、ボールをつぶして(しっかりと)打たないとコントロールしにくかったです。でも、コートが固いので実際にボールを打ったときには重たい感じがしました。

僕はこれからもテニスを続けるので、USオープンの一般の方に出て勝ちたいので、練習に励みます。 良い経験をさせてもらい本当にありがとうございました。

清風高校 三年 井藤 祐一

今回USオープンジュニアに出場させて頂きありがとうございました。とても良い経験ができたと思います。その中でも アメリカと日本の違いに気付きました。

コートは、とても固くてボールが跳ね上がります。ボールは日本のボールより軽いので、自分の思うとおりの打点でしっかり打たないと、自分の狙ったところにいかなくて、浅くなると叩かれ攻撃されました。

外国人選手と日本人選手の違いは、サービスだと思います。パワーやスピードが全然違います。外国人選手はダブルフォルトをしても気にせず、次のポイントは速いサーブで打ってきます。そんな前向きな気持ちがすごいと思いました。

最後に 高体連の方々、ウイルソンの方々、トレーナーの方々、コーチ、応援して下さった方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

渋谷教育学園幕張高等学校

高尾 恵利加

